

大変なことは、高齢者様への対応の仕方が慣れるまで大変だった。今では、患者様に理解して頂けるよう、わかりやすく説明する事を心掛けている。

●学生時代に心掛けておくべきこと。また、学んでおいた方がよいこと。

＜竹嶋さん＞まずは、基礎である医療保険制度について。ひと通り理解していたつもりでも診療科目や現場によって全然違うので、医学知識や保険知識が必要だと改めて感じた。挨拶はもちろんだが、お年寄りとの接し方やコミュニケーションをとる機会が多いため、言葉遣いや言葉の選び方についてももう少し学んでおけばよかった。あとは、わからない事はわからないと言える勇気を学生時代から実習等において身につけておくべき。

●仕事を通しての「自己実現」について。

＜渡邊さん＞自分の理想は常に追いつけたいと思っている。学生のときから、みんな理想は持っていると思う。その理想と現実が違うものであることは、働かだしてからはなおのことわかってくる。とはいえ、やはりその基本となるものは学校で教わって、自分なりのかたちの理想や自己実現は作られたと思う。それをずっと追いつけていきたいと思います。

●学生にアドバイス、メッセージ、エールを。

＜渡邊さん＞みなさんは1～2年後にはプロになっていると思う。社会人になるとこれまで経験したことのないような大変なことがあると思う。現代倫理の時間には「心の友をつくれ」と言われたことを覚えているが、まさにその通りで仲間を大切に乗り越えてほしい。

＜寺田さん＞人を大事にできると、どんな仕事もうまくいくので、出会った仲間、先生方、これから出会う人を大事にしてほしい。

＜八木さん＞これから大変なこともいろいろあると思いますが、この学校で学んだことは就職してから役にも立つので、しっかり乗り越えていってください。今、(卒業年次は)面接指導の真っ最中で大変かもしれません。この指導を乗り越えればなんとかなります。頑張ってください。

＜竹嶋さん＞資格を取ることはもちろん大切ですが、社会に出たらキチキチした挨拶・行動力(やる気・積極性)周りを見る目が大事になってくる。2年間という短い期間ですが、後悔しないように頑張ってください。

『卒業生を囲む会で学ばせていただいたこと』

総合福祉学科 1年 前田 晴香

私が卒業生の皆様のお話の中で一番心に響いたのは“コミュニケーション”についてです。言語的コミュニケーションに加え、「触れる」などの非言語的コミュニケーションが大切だというお話がありました。その内容は、入学後受けた授業の内容とリンクしてとても興味深いものでした。また、「今の子は何を考えているのかわからない」とのお話もありました。もうすぐ始まる第一期実習ではハキハキとした態度で、分からないことはしっかり質問するようにしたいです。

そして、どの先輩も利用者様のことを一番に考え利用者様の「心」を大切にして介護をしておられ、その上全員の先輩が介護の仕事に“やりがい”を感じているとのことでした。私もそのような先輩の姿を目標にこれからの勉学に励みたいです。

介護福祉学科 1年 勝呂 恭子

先輩方のお話を聞かせて頂いて、たくさんのことを教えていただきました。

まず、学生時代にやっておくべきことを教えていただきました。「言葉遣い」と「疑問を持つこと」そして何より「挨拶」が一番大切であると感じました。どのような場面においても挨拶ができることで第一印象がよくなると思います。そのため私自身、今から心がけたいと思います。

そして介護の現場に出られるようになるために、知識、技術はもちろんですが、ハキハキとした行動、返事ができるように頑張ります。その中で最も大切にしたいことは「人と人との出会い」であると今回の会で学ばせていただきました。

私自身、働きたい具体的な施設はまだ決まっていません。そのため、今後、ボランティアに積極的に参加し、実習を果敢とあるものにし、将来につなげていきたいと感じることができました。

そして、先輩方にお話しにあったように、『利用者様にあった介護』ができるようにこれから勉学に励みたいと思っております。

医療情報秘書科 1年 杉本 帆紀

私は医療情報秘書科でしっかり知識をつけ、現場に出て働くときには病院の顔になるような事務員になろうと思今勉強しています。ですが、知識だけでは対応できないことが沢山あるのだなと思いました。

『卒業生を囲む会』に参加して頂いた同学科の卒業生の方のお話でもお年寄りからのクレームのことありましたが、他の方も辛いことなどのお話があり、「誰かの役に立とう」と働いても理不尽なことは尽きないのだなと思いました。

病気のお年寄りの家庭の方々が協力的で無かったり、立ち会ったら私自身も辛くなることもあるのだなと思いました。2年後に働くときには、現場の辛いことだけに挫折しないで今後勉強して知識でいろんな人の役に立つ日々を送りたいです。

◆卒業生を囲む会へご出席頂いた卒業生より

メッセージが届きました。

本日は大変ありがとうございました。学生達に伝えたいこと、うまく喋れたか自信がなく心苦しい思いですが、10年目の節目の年にこの機会をいただき本当にこれまでの自分を振り返ることができました。

やはり社会は厳しいもので自分も入職した頃は苦労しましたが、自分の福祉の原点はこの中村学園だと改めて感じました。私は今後も福祉、特に障害者福祉の世界ですっと生きていきたいと思っています。磯野先生とも本当に久しぶりに会うことができ、大変嬉しく思っています。恐らく、卒業以来だったのでそこまで期間が空いてしまったこと、大変申し訳なく思います。自分が何歳になっても、先生とお会いすることで少しだけ学生に戻れることが嬉しいです。本当に今日は自分にとって、とてもいい1日でした。ありがとうございました。

また、近いうちにお会いしてお話したいですね。今後もよろしくお祈りします。

学生の皆様。社会で皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにお待ちしております。健康に留意して就活頑張ってください!!

応援しております。

【平成19年度総合福祉学科卒】

社会福祉法人白翁会

障がい者支援施設 光陽荘

副主任生活相談員

相談支援専門員 渡邊 裕章



◆2CW 面接指導を終えて

介護福祉学科 2年 小西 由紀

先日、就職のための面接指導を行っていただきました。自分の就職したい施設へ向けて履歴書を書き、立ち振る舞いや面接の受け答えの練習など、時間をかけて準備をしてきました。

私は面接がとても苦手で、自分で思っていることや考えていることを面接官に伝えることが難しかったです。練習を何度もしましたが、当日はかなり緊張してしまいました。

しかし偶然、面接指導をしていただいた翌日に本当の就職試験がありました。私は面接指導の時にご指導いただいたことを実行し、無事に内定をいただくことができました。ご指導くださった校長先生はじめ諸先生方、辛い時に励まし、支えてくれたクラスメイトにたくさんの感謝の気持ちでいっぱいです。これからも自分の「売り」である笑顔や明るさを大切に、よい仕事をし、自己実現を図ってまいります。